

目標達成計画

作成日: 平成 28年 5月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	○運営推進会議を活かした取り組み 年間の開催回数が6回に達しておらずご家族、知見者の出席がなく、会議の充実を図りサービス向上に向けて、呼びかけが必要。	年間6回の開催。 ご家族、知見者、行政、地域の方の出席。 会議の充実を図りサービスの向上。	昨年度は、3回の開催であり、出席者の要件を満たしていないことがある。 第一回開催時に年間の開催日時予定を報告する。 また、地域の会議や行事に積極的に参加をして、会議に参加して頂けるような関係構築を目指す。	12 ヶ月
2	35 (13)	○災害対策 災害時の備蓄が不十分のため、必要なものを準備する必要がある。 防災訓練の実施をしているが、出火以外も想定する必要がある。 地域との合同訓練が出来ていない現状にある。	今後は出火以外にも地震や水害を想定する。 地域との連携を図る。 災害用の備蓄の準備。	運営推進会議では、認知症の理解や地域住民との避難時の連携方法等についての議題を取り上げる。 地域消防団との消防訓練を行い、連携を目指す。 現在ある備蓄把握を行い、不足している物の準備を行う。	6 ヶ月
3	1(1)	○理念の共有と実践 会社の理念を掲げ、日々取り組んでいる。地域性やれんからしさを考慮した独自のスローガンを考えることで、地域に根差した事業所を目指したい。	地域性を考慮したスローガンを考え、日々の取り組みに繋げる。 地域住民の方との交流をもち、関係性を築く。	会議ではれんからしさのある、ご利用者やご家族、職員や地域の方々の想いを汲み取ったスローガンを検討する。 地域の自治会や行事に積極的に参加をして、地域の現状やニーズの把握を目指す。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。